



さくら 2012 夏

発行
社会福祉法人 東桜会
第 36 号

〒420-0962
静岡市葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

父の日・母の日ドライブ～ネオパーサ静岡に～

5月16日(水)女性入所者10名と新東名上りの静岡サービスエリア(以後、ネオパーサ静岡)へ母の日のドライブに、また6月20日(水)には男性入所者9名と同じくネオパーサ静岡へ父の日のドライブに出掛けました。両日とも前日までの雨模様もすっかりと晴れ、朝から心躍らせて外出用の洋服に着替えていました。

園のマイクロバスに乗り込み、バイパスを通り、羽鳥を經由して行きました。バスの車内では「若い頃羽鳥にご飯を食べに来たけれど、景色が変わって分かんないな～」と窓から見える町並みを眺めていました。

ネオパーサ静岡に到着すると、担当の方が出迎えて下さいました。

施設内に入ると、それぞれで買い物をしたり、軽食を摂ったりしました。私が行動を共にさせて頂いたHさんは、施設内を一回りした後、外を散歩し、“らくのうファクトリー”というお店でソフトクリームを買いました。普段、園の中では食べる事の出来ない、特大のソフトクリームを目の前に、「美味しいね！一口食べてみな」といつもよりたくさんの笑顔がこぼれていました。

施設内を見る時間は、1時間程度と限られていましたが、買い物をしたり、好きなものを食べたりと楽しんでいました。園に着く頃には「今度行く時はご飯を食べたいね」「楽しかったね」と話をしていました。

新東名開通という事もあり、今回このようなドライブを企画しましたが、改めて、外出する事は入所者の皆さまにとって特別な事なんだと感じました。これからもそんな特別な日のお手伝いをさせて頂けたらと思いました。

麻機園 寮母 赤堀 倫宏



美味しい食事をありがとう！ ～富士産業さんを取材しました。～

麻機園では、富士産業さんに業務委託して、入所者の皆様の毎日の食事を提供している。普段、皆様と接する事はない厨房スタッフさん達。朝は早番が6:00から、夜は20:00まで、もちろん年中無休で、皆様の食事作りや、園からの細かいオーダーを調整する。富士産業さんによると、「11人のチームワークでお互い助け合い、思い合い、時には意見を出し合い、入所者の皆様に、毎食楽しみにしてもらえるように作っています。食事を提供する上で心掛けていることは、とにかく安心、安全、そして美味しく」ということだった。

「家に帰ると自分のご飯は適当」というAさん、「家では奥さんのお弁当作りをする」というBさん、地元麻機のスタッフが多い中、藤枝から出勤しているCさんなど11名のスタッフの皆さん。

夏はエアコンを入れても玉のような汗が止まらないという事だが、暑さに負けず、これからもおいしい食事を入所者の皆様に提供して頂けるよう、よろしくお願ひします。そしていつも美味しい食事をありがとうございます。

取材 副寮母長 坂本 晃



やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人 東桜会

新人職員紹介



5月から麻機園にお世話になっています。前職は、1グループ、利用者9名のグループホームで働いていました。麻機園は、80名という多くの入所者の方々がいらして、毎日覚える事も多く、とても勉強になっています。あっという間に1日が終わってしまう事もありますが、入所者の皆様や先輩にご指導を頂きながら、1日も早く仕事を覚え、入所者の方々が笑顔で生活できるように頑張ります。宜しくお願い致します。

麻機園 寮母 井出 靖代

七夕に願いを込めて ~ある短冊より~



家族が健康でいますように。

一番多かった願い



もう一度健康になりたい。

100才女性



期待に応えられますように。

先輩の激励を受けて・・・



良縁に恵まれますように。

独身寮母より



東桜会 夏祭り開催！

今年も毎年恒例「東桜会夏祭り」の時季となりました。入所者・ご利用者に楽しんで頂けるよう職員で準備中です。ゲームや、おいしい食べ物などを企画しております。皆様のご来園をお待ちしております。



- 開催日 8月4日(土) -

時刻 午後15:00~17:30
 場所 桜花玄関前
 イベント 阿波踊り(すんぶ連阿波踊り同好会)
 食べ物 アイスクリーム、、フランクフルト、焼きそば、焼き鳥、たいやき、たこ焼き、その他
 ゲーム 空き缶つみ、ミニボーリング、アメつかみ、三角くじ、ストラックアウト



「介護の仕事に就いて」

佐藤尚哉

私の祖母はもう何年も前に亡くなりましたが生前は母が実家で同居して側にいました。その当時私は違う土地で印刷業の仕事に就いており、祖母に会えるのは、たまに実家に帰った時でした。その時は、一緒に過ごす事を心掛けていました。祖母に顔を見せるとすごく喜んでもらえ、私の事を心配してくれました。その時はあまり気に掛けてはいなかったのですが、今、思うと祖母にとっても私にとっても貴重な時間でした。その後祖母は認知症が進み、私の事もあまり分らなくなっていきましたが、その時その時の様子は、変わらない祖母のままでした。それと同時に母の様子をみていると、親に付き添ったということが、こんなに大変なものなのかと思いました。祖母が施設に入り、施設の職員さんが笑顔で祖母の面倒をみてくださり、非常にありがたいと思うのと同時に「このような仕事があるのだ」という思いが残りました。

その後数年が経ち、以前の職を辞め、今後自分はどうして行こうかと考えた時に、私は祖母の事、お世話をしてくれた方々の事を思い出し、介護の仕事をしよと決めました。

縁あって麻機園で働き始めて一年六カ月が経ちました。介護は、入所者個々に多くの援助方法があり、未熟な私は、慌しくなってしまうことがまだまだ多いです。そのような中で、入所者の皆様の「笑顔」をみるとホッとしたり励まされたりします。

私も、「笑顔」で、入所者の皆様に寄り添い、安心した生活を送って頂きたいと思っています。これからも入所者に信頼され、遠慮なく頼ってもらえる寮母を目指して頑張ります。